

エコアクション21 (EA21)

環境活動レポート

2017年度
(2017年2月～2018年1月)



作成 : 2018年 8月 20日



承認	作成
岩崎 (厚)	岩崎

I. 組織の概要及び略歴

会社概要

1. 事業所名及び代表者

株式会社 小名木川ギヤー
代表取締役社長 岩崎 厚三

2. 所在地

本社；東京都江東区猿江1丁目2番7号
TEL 03-3631-0037(代)
FAX 03-3635-0868
E-mail ong@green.ocn.ne.jp
千葉工場；千葉県茂原市萱場1525番地
TEL 0475-34-4536(代)
FAX 0475-34-4568
E-mail ongchb@peach.ocn.ne.jp
大網分工場；千葉県大網白里市大網1803番地
TEL 0475-73-1816
FAX 0475-73-1816

3. EA21責任者・連絡先

管理責任者 取締役副工場長 佐藤 博
連絡先 環境事務局 担当課長 岩崎 洋明
TEL 0475-34-4536(代)
FAX 0475-34-4568
E-mail ongchb@peach.ocn.ne.jp

4. 事業の規模

従業員数	72名 (2018年 1月)
売上高	2,141.4(万円) / 2018年 1月期
敷地面積	本社 366㎡ 千葉工場 7,508㎡ 大網分工場 1,468㎡
床面積	本社 195㎡ 千葉工場 3,674㎡ 大網分工場 1,282㎡

5. 会社沿革

当工場の沿革を次に記述する。

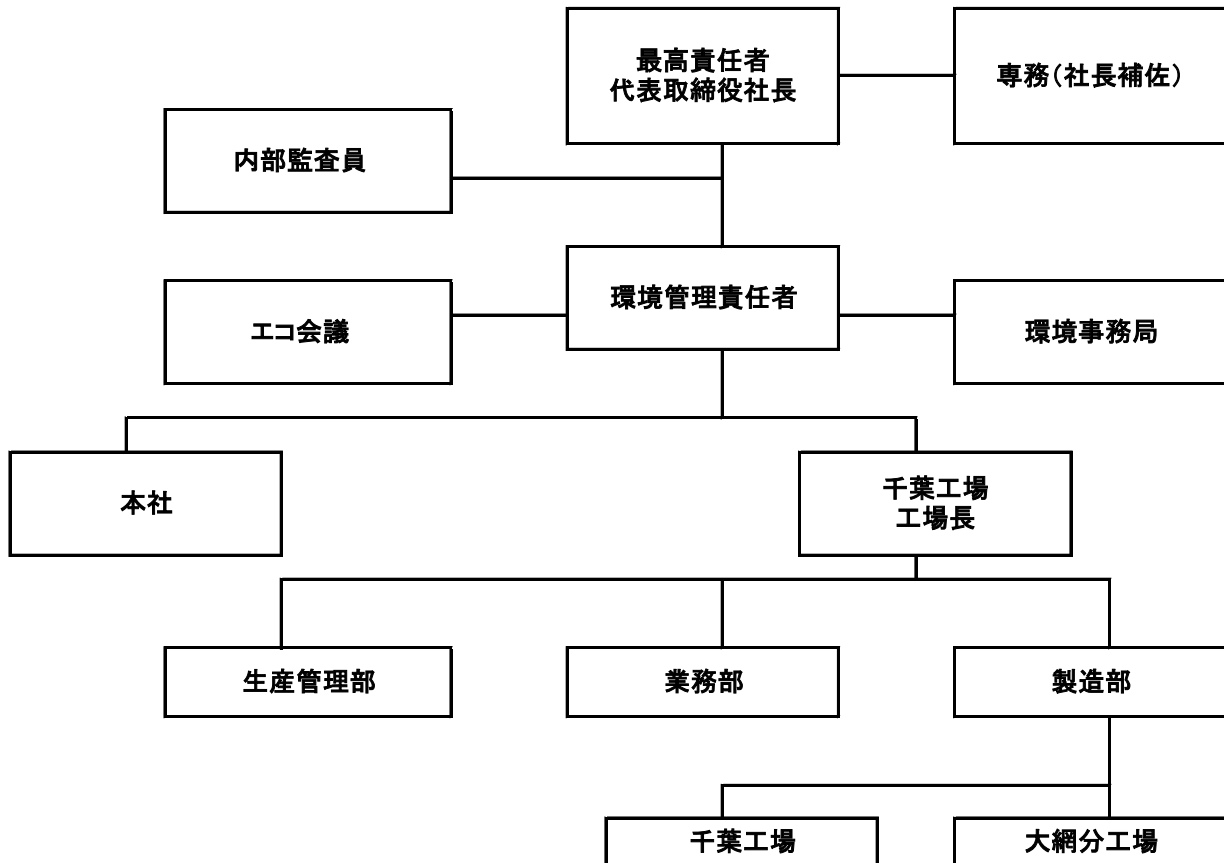
- 大正9年 東京本所区錦糸町に岩崎鉄工所として創業。諸機械及び歯車の製作を開始。
- 昭和6年 深川区千田町に移転。小名木川ギヤー製作所に社名変更。歯車専門メーカーとなる。

- 昭和19年 深川区猿江町に、本社、工場を移設。
- 昭和24年 合資会社小名木川ギヤー製作所として法人化。資本金50万円。
- 昭和50年 株式会社小名木川ギヤーに改組。資本金2,000万円。
- 昭和56年 千葉県茂原市に千葉工場を建設。
- 昭和61年 製造業務をすべて集結。
- 平成15年 ホームページ公開(URL://www.onagigawa.co.jp/)。
- 平成16年 千葉県山武郡大網白里町に大網分工場開設。
- 平成21年 環境マネージメントシステム、エコアクション21認証・登録。
- 平成21年 品質マネージメントシステム、ISO9001-2008登録。
- 平成23年 大網分工場第3工場新設。
- 平成25年 大網分工場住所名変更。
千葉県大網白里大網1803番地。
千葉工場デマンドコントロール設置。
- 平成27年 千葉(第1・第2・第3)工場内の水銀灯照明をLED照明に変更。

6. 現在の事業内容

歯車製造業として材料(主として鋼材)調達から、機械加工、熱処理(取引先に外注)、表面処理(取引先に外注)、梱包、輸送まで一貫した事業を行なっている。

7. (1) 環境組織図



(2) 責任と権限

社長	<ol style="list-style-type: none">1. 環境管理責任者の任命2. 環境方針の制定3. 環境経営システムの実施及び管理に必要な資源の準備4. 環境経営システムの定期的見直しの実施5. 環境レポートの発行責任者
環境管理責任者	<ol style="list-style-type: none">1. 環境経営システムの確立、実施及び維持するための処置2. 社長に対し、環境経営システムの実績報告3. 環境経営システムの教育・訓練の計画・実施責任者4. 環境レポートの作成責任者
EA21事務局	<ol style="list-style-type: none">1. 環境経営システムの手続き等を遂行2. 契約業務等事務処理、環境活動からのデータ収集
部門長	<ol style="list-style-type: none">1. 部門の環境活動の責任者2. 自部門の実施状況を日常的に点検し、改善を指導する
工場長	<ol style="list-style-type: none">1. 工場における現場指揮及び実績管理2. ライン運転、製造、保管及びEA21活動現場責任者
従業員	<ol style="list-style-type: none">1. 自部門の目標を実行し、改善に努める

II, 対象範囲

1. 対象事業所： 本社,千葉工場,大網分工場
2. 事業活動： 歯車の製造

Ⅲ、環境方針

基本理念 **我らの地球を守ろう！**

当社は、地球環境保全が全人類にとって最大重要課題であることを深く認識し、事業活動のすべての面で環境に配慮した行動に努め、同時に地域社会との調和を保ちながら事業を推進・発展させていくことを目指します。

基本方針

1. 歯車製造の事業活動を通じて環境経営システムを構築し、人と地球に優しい事業活動の推進と環境負荷の低減に努めます。
2. 環境に関する法規制を遵守し、環境汚染の防止と環境保全に努めます。
3. 当社が行なう環境活動は、以下を重点的に行っていきます。
 - 1) 工場、事務所内での省資源・省エネルギーの取り組み。
 - 2) 生産活動にともなう加工不良、廃棄物、排出物の削減。
 - 3) 調達品のグリーン購買。
 - 4) 化学物質削減、若手社員の技術力向上及び技術伝承
4. 本方針に基づき環境目標を定め、環境活動計画に従って自主的かつ積極的な活動を展開するとともに、必要があれば環境方針の見直しを実施します。
5. 本方針を従業員および協力企業に周知するとともに、当社の活動を示した環境レポートを作成し、社外に公表します。

2010年 1月 27日
株式会社 小名木川ギヤー
代表取締役 岩崎 厚三

V. 2017年度における環境目標とその実績

1. 中期経営環境目標

項目	単位	2016年 (基準値)	2017年度 (目標値)	2018年度 (目標値)	2019年度 (目標値)
電気使用量(本社)	kwh/年	10,989	99%	98%	97%
			10,989	10,769	10,659
電気使用量(千葉工場)	kwh/年	1,403,376	119%	115%	117%
	kwh/生産量		479	465	451
電気使用量(大網分工場)	kwh/年	212,722	122%	120%	121%
	kwh/生産量		76	72	70
電気使用量(全社合計)	kwh/年	1,627,087	120%	115%	118%
	kwh/生産量		584	540	524
灯油使用量	L/年	31,283	122%	128%	130%
	L/生産量		11.23	10.80	10.70
軽油使用量	L/年	34,388	119%	119%	119%
	L/生産量		12.35	11.90	11.80
ガソリン使用量	L/年	14,357	141%	149%	154%
	L/生産量		5.16	5.80	5.80
温室効果ガス排出量(注)	Kg-CO2/年	807,958	118%	122%	116%
	kg-co2/生産量		290	267	247
水使用量(全社計)	m3/年	1,168	123%	130%	133%
	L/生産量		419	410	410
一廃排出量	Kg/年	20,805	124%	132%	135%
	Kg/生産量		7.47	7.42	7.40
産廃排出量	Kg/年	29,319	125%	131%	133%
	Kg/生産量		10.53	10.40	10.30
生産量	t/年	2,785	3,500	3,500	3,500
化学薬品管理	%	100	100	100%	100%
グリーン購入	%	100	100	100%	100%

2. 主要な環境活動の内容

No.	項目	目標値	改善活動の内容
1	電力使用量	前年度実績 3%低減	①昼休み・不在場所の消灯(月4回程度巡回点検)
			②エアコン適温化(夏季:28℃、冬季:20℃)
			③電気ストーブ周りの適温化(足元温度:25℃以下)
			④エア配管系のエア漏れ点検修理
2	灯油使用量	前年度実績 3%低減	①昼休み・不在場所の消火(月4回程度巡回点検)
			②灯油ストーブ周りの適温化(室温:20℃以下)
			③洗浄油再利用の活性化
3	ガソリン・軽油 使用量	前年度実績 3%低減	①輸送ルートの事前検討励行(運行管理者による日常指導)
			②フォークリフト省エネ運転励行(管理者注視による指導)
			③社有車の計画的運行
			④省エネ社有車の導入
4	LPG使用量	前年度実績 3%低減	①ガスストーブ周りの適温化(室温:20℃以下)
5	一般廃棄物排出量	前年度実績 5%低減	①梱包緩衝材をリユース材へ変更
			②コピーの縮減、裏紙利用促進
			③分別励行による可燃物縮減
6	産業廃棄物排出量	前年度実績 3%低減	①廃油リサイクル
			②産業廃棄物の適正処理
			③工事排出物の業者指導
			④破損パレット返却励行
7	総排水量	前年度実績 5%低減	①蛇口付近に節水励行札の取り付け
			②朝礼等にて啓蒙活動
8	調達品のグリーン 購買	事務用品に 適用購入品 100%	①注文時にグリーン用品を指定
			②納入品のグリーンマーク確認

3. 平成29年度環境活動実績

項目	単位	目標値	実績値	達成率	コメント
電気使用量(本社)	kwh/年	10,989	10,934	101%	気候不順が多く使用量が心配であったけれど、目標値は達成できた。
電気使用量(千葉工場)	kwh/年	1,676,500	1,541,324	109%	生産量は増加したが、目標値以下の使用量を確保出来た。
	kwh/生産量	479	437	110%	
電気使用量(大網分工場)	kwh/年	259,000	248,185	104%	生産量は増加したが、目標値以下の使用量を確保出来た。
	kwh/生産量	74	70	105%	
電気使用量(全社合計)	kwh/年	1,946,489	1,800,443	108%	総合トータルでは、一年を通して目標値をクリアできた。
	kwh/生産量	556	510	109%	
灯油使用量	L/年	38,135	30,451	125%	気候不順が多く使用量が心配であったけれど、目標値は達成できた。
	L/生産量	10.90	8.63	126%	
軽油使用量	L/年	41,920	35,653	118%	輸送重量の増加がありましたが、省エネ運転を実行したために目標値をクリアできた。
	L/生産量	11.98	10.10	119%	

ガソリン使用量	L/年	20,300	21,096	96%	生産量の上昇でトラック以外の納品もありましたが、省エネ運転を実行したために目標値をクリアーできた。
	L/生産量	5.80	5.98	97%	
温室効果ガス排出量(注)	Kg-CO2/年	956,370	870,187	110%	対象の項目で全てクリアーした結果、目標を下まわる数値が確保できた。
	kg-co2/生産量	273	247	111%	
水使用量	m3/年	1,435	1,324	108%	各自が水の出しっぱなしやめることを徹底した結果、目標値をクリアーできた。
	L/生産量	410	375	109%	
一廃排出量	Kg/年	25,900	21,559	120%	順調に無駄のしよをなくす効果が表れた結果が出てきたと思います。
	Kg/生産量	7.40	6.11	121%	
産廃排出量	Kg/年	36,750	46,240	79%	今年から、除水槽の清掃を定期的に行なうようにしましたので、目標値をオーバーしたけつとなりました。
	Kg/生産量	10.50	13.10	80%	
生産量	t/年	3,500	3,529	101%	お得意先からの受注量の増加の結果目標値をクリアーできました。
化学薬品管理	%	100	100	100%	チェックシートによる
グリーン購入	%	100	100	100%	チェックシートによる

4. 環境目標の結果

上表の実績から、エコアクションの目標である二酸化炭素(CO2)の削減は達成できました。

前年度の比較から、各項目の使用量は減数しています。

産業廃棄物について、除水槽(汚泥)清掃量の増加が影響して未達成となりました。

その他の項目につきましては生産量のUPにより増加しておりますが、増加比率は基準値以下のために達成をしている。

水使用量に関しては、天候や作業量の増加の影響もありましたが、目標値はクリアーとなった

5. 2017年度の目標に対する評価

二酸化炭素排出量:	目標値を達成することが出来ました。生産高の上昇で電力・燃料費の使用量のアップがありました。灯油・LPGの減少があったことで、生産量の増加比率の数値より低くなったと思います。
電力使用量:	目標値を達成することが出来ました。生産量は昨年比126%と増加をし、使用量も109%に上昇しましたが、昨年からの照明をLEDに交換した成果とデマンドメータの活用により節電効果が表われたと思われます。
燃料使用量:	目標値を達成することが出来ました。生産量は昨年比126%と増加をし、使用量も116%に上昇しました。ガソリンの使用量は前年度から約50%位多くなりましたが、軽油の消費量が3%の上昇に収まりましたのが良い結果を表したと思われます。
灯油使用量:	目標値を達成することが出来ました。今年度は、寒暖の変化が激しかったのに使用量の節約が浸透してきた結果で使用量が減少しました。
LPG使用量:	目標値を達成することが出来ました。無駄な暖房・手洗い等の節約が良い結果を表したと思います。
一般廃棄物排出量:	目標値を達成することが出来ました。会社内の不用品の整理が順調に行なわれている成果が表れてきたと思われます。
産業廃棄物排出量:	今年から、排水施設の汚泥処理作業の定期化の開始と作業用廃棄物の増加があり、前年度を大きく上回ってしまいました。
総排水量:	目標値を達成することが出来ませんでした。。

Ⅶ、環境保全活動の取組み結果の評価と 次年度取組みについて

1. 次年度の取組（中期環境目標の見直し）

項 目	単 位	2016年 (基準値)	2017年度 (実績値)	2018年度 (改定目標値)	2019年度 (目標値)
電気使用量(本社)	kwh/年	10,989	10,989	98%	97%
				10,769	10,659
電気使用量(千葉工場)	kwh/年	1,403,376	1,541,324	115%	117%
	kwh/生産量	504	437	169,500	1,713,800
電気使用量(大網分工場)	kwh/年	212,722	2,481,185	120%	121%
	kwh/生産量	76	70	255,300	26,600
電気使用量(全社合計)	kwh/年	1,627,087	1,800,443	115%	118%
	kwh/生産量	584	510	1,875,569	1,990,459
灯油使用量	L/年	31,283	30,451	102%	130%
	L/生産量	11.23	8.63	31,820	44,840
軽油使用量	L/年	34,388	35,653	128%	119%
	L/生産量	12.35	11.98	44,030	1,676,500
ガソリン使用量	L/年	14,357	21,096	149%	154%
	L/生産量	5.16	5.80	21,460	22,040
温室効果ガス排出量(注)	Kg-CO2/年	807,958	870,187	114%	116%
	kg-co2/生産量	290	247	923,381	938,403
水使用量(全社計)	m3/年	1,168	1,324	130%	133%
	L/生産量	419	410	1,517	1,558
一廃排出量	Kg/年	20,805	21,559	132%	135%
	Kg/生産量	747	7.65	27,454	28,120
産廃排出量	Kg/年	29,319	46,240		133%
	Kg/生産量	10.53	13.10	46,990	39,140
生産量	t/年	2,785	3,529	105%	108%
化学薬品管理	%	100	100	100%	100%

VIII. 環境関連法規の遵守状況及び違反、訴訟等有無

1. 法規制遵守の適合性と評価

1. 環境法規制について、遵守確認の結果、問題はありません。
2. 過去3年間、公共機関から是正の指導及び住民の苦情・訴訟はありません。
3. 当社に適用される主な環境法規は下記の通りである。
 - ① 消防法
 - ② 廃棄物処理法
 - ③ 自動車NoxPM法
 - ④ 自動車リサイクル法
 - ⑤ フロン排出規正法
 - ⑥ 資源有効利用促進法

IX 代表者による全体評価と見直しの結果

EA21活動や作業方法の見直しで、環境目標値も順調に達成できた
いずれにも社員全員の努力と協力の成果である。
今後も全員で達成に向けて進んで行こう。